

第2学年生活科学学習指導案

1 単元名 「作って わくわく あそんで にっこにこ」

2 単元について

(1) 児童の実態

対象学年の児童は、1学期に図画工作科「水にうかぶものを作ろう」の学習を通して、身近にあるペットボトルや発泡トレー、プリンカップなどを用いて工作した経験がある。

また、9月の国語科単元「おもちゃまつり」では、「山登りかめさん」のおもちゃを作り、作り方や遊び方について説明した経験もある。

本単元に入る前に、意識調査(対象児童64名)を行ったところ、95%の児童が「工作(物を作ること)」について「大好き」「まあまあ好き」と答えている。「何をして遊ぶか、何を作ろうか考えること」については、89%の児童が「大好き」「まあまあ好き」と答えている。そして、「友達と教え合ったりする活動」については、「大好き」「まあまあ好き」が83%となっている。

これらのことから、作ったりする具体的な活動や体験は、ほとんどの児童が好む傾向にあるが、学習として思考したり表現したり伝え合ったりする活動は、全体的には、好む傾向にあるものの、中には「好まない」「苦手」と感じている児童が少なからずいることを考慮した単元計画を立てる必要があると考える。

(2) 単元観と教師の願い

本単元は、新学習指導要領の内容(6)の「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を受けて設定している。これは、生活科の内容構成において、「自らの生活を豊かにしていくために低学年の時期に体験させておきたい、活動に関する内容」である。

具体的な指導としては、主に「友達といっしょに遊ぶもの」を考えることを中心として活動を仕組んでいる。よって、あらかじめ決まった物を作るのではなく、これまでの経験を生かし、身の回りにある素材を手に取りながらできそうな遊びや遊びに必要な物、遊びにつながる物を作っていく活動が中心となる。

まず、身近にある物の素材を使って「こんな物が作れそうだ」「こんなことをして遊べそうだ」など、考える時間を十分にとる。その際、自分で考えることに抵抗を感じる児童やもいることから、友達の考えた遊びや遊ぶ物について伝え合う活動を仕組む。このことにより、抵抗感や苦手さを感じている児童も考えやすくなり、対象や友達への気付きも生まれるのではないかと考える。そして、遊びに使う物や作って遊ぶ物の計画を立てさせる。その際、必要な道具等についても見通しをもたせるようにする。これらの活動から、身近な物で遊びや遊ぶ物が作れそうだということに気付かせ、自分で作ってみようという意欲をもたせたい。

次に、実際に作ったり遊んだりする活動を繰り返し、試行錯誤しながら遊びを考えたり遊びに使う物を作る活動を行う。その過程で「あそびまつり」を2回仕組み、友達との交流を図り、交流を通して素材への気付きや、遊びや製作物への気付き、かかわった友達への気付きを促す。相互に刺激し合いながら気付きがより高まるようにするとともに、より楽しく遊ぶことができるようにしていきたい。また、自分で考える面白さや友達から教えてもらうよさについても味わわせたい。

そして、最後に単元全体の活動を振り返ることを通して、身近な物へかかわる楽しさや、友達と楽しく遊ぶこと、友達のよさや自分の成長などへの気付きを実感できるようにしていきたい。

3 単元の目標

身近にある物を使って遊びや遊びに使う物を考えてつくり、友達と一緒に遊びを楽しむことができる。

4 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
身近にあるいろいろな物や遊びに関心を持ち、友達と交流しながら楽しく遊ぼうとする。	身近にある物を使って遊ぶ物を工夫して作り、遊び方を考える。	身近にある物を使って遊ぶことや遊ぶ楽しさ、友達や自分のよさに気付く。

5 単元の指導計画（全 11 時間）

時数	主な学習活動	教師の指導・支援	評価		
			関・意	思・表	気付き
1 2	○素材を使って遊びや作れそうなものについて作ったり遊びながら、自分で考える。 ・ ○考えたことを表現する。 ○表現したことを基に、友達と互いに伝え合う。	・ 特徴的な素材を取り上げ、児童と対話しながら本時のめあてをつかませる。 ・ 時間を指定し、お互いに考えたことを伝え合う場を設ける。 ・ 自分が考えた遊びや友達の考えでよいと思ったことを記録させる。	○		○
3	○前時のワークシートを使い、どのような遊びにするか、どのような物を作るか、計画を立てる。 ・ どのような遊びか？ ・ 作る物は？ ・ 必要な材料や道具は？ など	・ 前時のワークシートを使い、遊びと遊ぶための物作りを考えさせる。 ・ 思いや願いを実現させるために必要な物や手順を考えさせ、見通しをもたせる。 ・ 見通しがもてない児童には、素材に触れさせたり教師からの問い掛けや対話をするにより、見通しがもてるよう支援していく。		○	
4 5	○計画書を見ながら作る。 ○工夫や修正を加えながら作り進める。	・ 計画書に従いながらも、修正や変更が可能なことを伝えておき、いろいろと試しながら作らせるようにする。 ・ なぜ、修正や変更をしたのか、対話から考えを引き出し、思いや願いを確認させるようにする。		○	
6	○「ちょこっとあそびまつり」をする。（ペアの班のところで遊ぶ。） ○ペアの班の友達のよかったところやアドバイスなどを書き、伝え合う。	・ 遊び合う場を設け、友達の遊びや遊ぶもののよかったところやアドバイスをカードに書いて伝え合わせる。 ・ カードの書き方の例を示す。 ・ 受け取ったカードから、次の活動の見通しをもたせるようにする。	○		○
7 8	○友達からのアドバイスや一緒に遊んだ中から気付いたことを基に、遊びをさらに工夫する。 ○試しながら作り替える。	・ 受け取ったカードを基にこれからの活動見通しを確認し、遊ぶ物や遊び方の修正をさせる。 ・ どのように修正していけばよいか分からず困っている児童には教師からの問いかけや対話をしながら修正を進めさせる。		○	
9 10	○「あそびまつり」をする。（1回目と別のペアの班のところで遊ぶ。） ・ ○友達の遊びや遊ぶ物のよかったところをカードに書き、伝え合う。	・ 遊び合う場を設け、友達の遊びや遊ぶもののよかったところをカードに書いて伝え合わせる。 ・ 受け取ったカードを整理しながら、友達や自分についての気付きを出させるようにする。	○		○
11	○単元の活動を振り返り、振り返り、自分の成長やこれからの活動についてカードに記録する。	・ 単元全体の学習カード類を基に本単元の振り返り、自分の成長や可能性についてカードに記入させる。		○	○

6 単元の評価計画

時	具体的な評価規準	見取りの視点（評価方法）
1 2	関心・意欲・態度 身近にあるいろいろな物に関心 ・をもち、遊ぼうとしたり遊びに 使う物を作ろうとしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるいろいろな物に進んで触れようとしているか。（行動観察，発言） ・身近にある物を使って遊ぼうとしたり，遊びに使う物を作ろうとしたりしているか。（行動観察，対話）
	気付き 身近にあるいろいろな物の特徴 に気付く。	
3	思考・表現 遊びに使う物を考え，絵や言葉 で表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるいろいろな物の特徴から遊びや遊びに使う物を考えているか。（行動観察，対話） ・考えたことを絵や言葉で表しているか。（ワークシート，対話）
4 5	思考・表現 ・遊びに使う物を自分や友達 の考えを生かし，作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のワークシートを基に遊びや遊びに使う物を作っているか。（行動観察，作品，対話）
6	関心・意欲・態度 友達と一緒に遊ぼうとし，思っ たことを伝えようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に，作った物で遊ぼうとしているか。（発言，行動観察，対話） ・友達と一緒に遊んでいて遊びや遊ぶ物のよさやアドバイスなどを進んで伝えようとしているか。（発言，行動観察，対話）
	気付き 友達の遊びのよさや，自分の遊 びのよさなどに気付く。	
7 8	思考・表現 ・遊ぶ物や遊び方を工夫・改善し， 作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に友達と遊んだことやもらったカードを基に，遊びや遊ぶ物を改善しているか。（行動観察，作品，ワークシート，対話）
9 10	関心・意欲・態度 友達と一緒に遊ぼうとし，思っ たことを伝えようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に，作った物で遊ぼうとしているか。（発言，行動観察，対話） ・友達と一緒に遊んでいて遊びや遊ぶ物のよさ友達のよさなどを進んで伝えようとしているか。（発言，行動観察，対話）
	気付き 友達の遊びのよさや自分の遊び のよさ，友達と一緒に遊ぶ楽し さに気付く。（カード・発言・ ワークシート・対話）	
11	思考・表現 本単元全体を通して自分の活動 を振り返り，自分の頑張りや成 長などについて考え，絵や言葉 で表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を振り返り，自分の頑張りや成長などを絵や言葉で表しているか。（振り返りカード，対話）
	気付き 単元を通じた自分の頑張りや成 長などに気付く。	

7 1 単位時間ごとの指導略案

(1・2/11時間)

- ・本時の目標・・・持ち寄った素材から、できそうな「遊ぶおもちゃ」について考えることができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 身の回りの物から作った経験や、できそうな物について意見を出し合う。 2 本時のめあてをつかむ。	○ 教師が提示した身の回りの物からできそうな物や遊びについて意見を出させるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「友だちとあそべるもの」を考えよう </div>		
おこなう	3 素材にふれ、遊んだり作ったりする。 4 作れそうなおもちゃや遊べそうなことについてワークシートに表し、伝え合う。	○ 自分や友達が持ち寄った素材に触れたり切ったりつなげたりしながら、遊びや遊ぶ物についての思いや考えを引き出し、作れそうなものや遊べそうなことについて、ワークシートにかかせるようにする。 ○ かいたワークシートや素材に触れたり切ったりつなげたりしたものを基に、考えたことを伝え合わせる。
ひらく	5 友達の考えでよいと思ったりまねしたりしたいと思ったことをかき加える。	○ 伝え合ったことから、友達のよい考えやまねしてみたいことなどについてワークシートにかき加えさせる。

(3/11時間)

- ・本時の目標・・・「遊ぶおもちゃ」について考え、自分が作る物を決めることができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 前時の活動を思い出す。 2 本時のめあてをつかむ。	○ ワークシートを台紙に貼りながら振り返るようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 作る「あそぶおもちゃ」をきめよう (けいかく書をかこう) </div>		
おこなう	3 作る「遊ぶおもちゃ」について作りながら決め、ワークシートにかいていく。 ・決めたら遊び方や必要な物など詳細についてかいていく。	○ 作ることばかりに終始している児童には、言葉掛けや問い掛けをしながら思いや考えを引き出し、作る物を決めさせるようにし、ワークシートにかかせるようにする。 ○ 見通しがもてた児童は作り始めてもよいことを伝える。
ひらく	4 計画に従って、必要な物を準備することを知らせる。	○ ワークシートに書いた準備する物を連絡帳に書き写させる。

(4・5/11時間)

・本時の目標・・・考えた「遊ぶおもちゃ」を作ることができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
で あ う	1 前時の活動を思い出す。 2 本時のめあてをつかむ。 「ともだちとあそべるもの」を作ろう	○ 前時のワークシートを見ながら振り返り、作るものを確認する。
お こ な う	3 計画書を基に「遊ぶおもちゃ」を作る。 ・作っていきながら遊んだり、遊びの途中で作り替えたりしていく。 ・必要に応じて計画書を変更しながら作っていく。	○ 作ることばかりに終始している児童には、遊びを試しながら作らせるようにする。 ○ 遊びに終始している児童には、言葉掛けや問い掛けをしながら工夫した点やおもしろい点などを引き出すようにする。
ひ ら く	4 次時は、できたものを使って「ちょこっとあそびまつり」を知り、ワークシートに遊び方などを書く。	○ 今日の活動を振り返りながら、絵や言葉を使いワークシートに作り方や遊び方などを記入させる。

(6/11時間)

・本時の目標・・・友達の遊ぶものや遊びについて気付いたことを伝えることができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
で あ う	1 前時の活動から本時の活動の見通しをもつ。 2 本時のめあてをつかむ。 「ちょこっとあそびまつり」で気づいたことを教え合おう	○ 「ちょこっとあそびまつり」の仕方を説明する。 ・説明する側と遊ぶ側に分かれて、前半と後半で交代することを伝える。
お こ な う	3 教え合うやり方を知り、「ちょこっとあそびまつり」をする。 ・遊ぶ側はその都度、友達の遊ぶものや遊びについて気付いたことを付せんに書いて渡す。 ・説明する側は、遊ぶものや遊び方の工夫したことなどを伝える。	○ 教え合うポイントを確認させる。 ・まねしたいことやすごいなと思ったことなどの賞賛 ・変えたり付け加えたりすることなどのアドバイス ○ どの児童も付せんがもらえるように遊びに行く班を指定する。 ○ 渡す際には、書いている内容について対話をさせる。
ひ ら く	4 「ちょこっとあそびまつり」の振り返りをする。	○ ワークシートの振り返りの欄に記述させる。

(7・8/11時間)

- ・本時の目標・・・「ちょこっとあそびまつり」で気付いたことを基に遊ぶものや遊びについて工夫することができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
で あ う	1 前時の活動を思い出す。 2 本時のめあてをつかむ。 あそびやあそぶものを「しんか」させよう	○ 前時のワークシートの付せんや振り返りを見ながら本時の方向性を確認させる。
お こ な う	3 友達からもらった付せんや友達の遊ぶものや遊び方から気付いたことを基に、自分の遊ぶものや遊び方の工夫をしていく。 ・遊ぶものの工夫 ・遊び方の工夫	○ みんなが楽しく遊べるようにすることを念頭に活動させるようにする。 ○ 前々時のワークシート（計画書）の絵をコピーしておき、必要に応じて工夫したところを書き加えさせる。
ひ ら く	4 次時は、工夫したものを使って「あそびまつり」をすることを知らせる。	○ ワークシートに次時への期待感を記述させる。

(9・10/11時間)

- ・本時の目標・・・「あそびまつり」を行い、遊ぶ物や遊びなど友達のよさに気付き、お互いの気付きを伝え合うことができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
で あ う	1 本時のめあてをつかむ。 「あそびまつり」で 『よかところ』 はっけん！	○ 「ちょこっとあそびまつり」を想起させ、やり方を知らせる。
お こ な う	2 教え合う方法を確認める。 ・遊ぶ側はその都度、友達の遊ぶものや遊び、友達のよさなどについて気付いたことを付せんに書いて渡す。 ・説明する側は、遊ぶものや遊び方の工夫したことなどを伝える。	○ 教え合うポイントを確認させる。 ・遊びや遊ぶ物について、まねしたいことやすごいなと思ったこと ・伝え方や表情などの友達のよさについて ○ どの児童も付せんがもらえるように遊びに行く班を指定する。
ひ ら く	3 「あそびまつり」の振り返りをすすめる。	○ 友達からもらった付せんを見ながら、ワークシートに本時の振り返りを記述させる。

(11/11時間)

・本時の目標・・・単元の振り返りを行い，自分のよさについて気付くことができる。

過程	主な活動	指導上の留意点・支援
であう	1 本時のめあてをつかむ。	○ 本単元で使った，これまでのワークシートを各自持たせておく。
ぼくの・わたしの『よかところ』 はっけん！		
おこなう	2 ワークシートを見返しながら，自分の活動の振り返りをする。 3 振り返りカードに自分への気づきを記入する。	○ 自分で考えたことや，友達から伝えてもらったカードなどを手がかりに，自分自身への気づきを深めさせるようにする。 ○ なかなか記入できない児童には，ワークシートへの記述や，一緒に活動した友達への問い掛けから自分自身への気づきを促すようにする。
ひらく	4 次の単元について知り，本単元の学習を生かしていく見通しをもつ。	○ 次の単元でしてみたい活動を考え，振り返りカードに記述させる。